

# 《 フローレンスのVISION 》

## 子育てと仕事そして自己実現のすべてに誰もが挑戦できるしなやかで躍動的な社会

### 現状の問題

### フローレンスのアクション

悩む！  
ワーキングペアレンツ

(こどもの病気でも)休めない会社  
長時間労働の働き方

仕事と育児の両立が難しい  
社会

地域の力で解決しよう！  
病児保育事業

フローレンスのメイン事業です。  
特徴は、非施設型 / 保険型。

仕事と育児の両立で悩むことは「病児保育」と答える人が72.2%と圧倒的な1位であるにもかかわらず、病児保育を扱う保育所は、全国に500箇所(保育所全体のわずか2%)と非常に少ないのが現状です。フローレンスは、この病児保育問題を独自のモデルで解決し、ワーキングペアレンツの新しいライフラインとして確立していきます。2005年4月の事業開始(江東区・中央区)後、2012年までに、23区内全域へ水平展開します。

働き方を変えちゃおう！  
ワーク・ライフ・バランス  
コンサルティング事業

次世代法(2003年7月施行次世代育成支援対策推進法)に代表されるように、働き方そのものの見直しが迫られています。フローレンスでは、病児保育問題の背景にある就労環境の改善のため、法人向けのコンサルティング業務を行います。次世代法対策の行動計画立案をはじめとして、「経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス創造」をサポートいたします。

社会のノリを変えちゃおう！  
ソーシャル・  
プロモーション事業

「病児保育」という言葉を「待機児童」と同じくらいメジャーな言葉に！を合言葉に、コンセプト発信をしていきます。言葉がメジャーになれば、社会問題としての認識・理解が深まり、大きな変化へのムーブメントが起きてきます。フローレンスは、認知拡大に留まらず、病児保育を両立支援のためのポジティブなメッセージとして発信し、仕事と育児が当たり前の社会へ、誰もが「次の一歩」に挑戦できる社会へ、一歩ずつ歩みを進めていきます。

# 規制改革案1

## 問題

補助金が交付金化されたにも関わらず相変わらず地方の自治体では660万円の予算と料金規制をかけている

## なぜか！？

単なる前例踏襲と担当者の情報不足

## どうすれば良いのか

厚生労働省等の方から、ソフト交付金だから自治体ごとに自由に価格設定して良いんだ、としつこく迫る

## 結果どうなるか

「やってもどうせ赤字」の病児保育施設から「やったらトントン、マーケティング効果を入れれば得する」病児保育施設になり、施設数が増加し両立に寄与

# 規制改革案2

## 問題

こども未来財団が出している企業向け「ベビーシッター補助券」をNPOは利用できない！！

## なぜか！？

入会金が40万円と不可解に高額のため、NPOはベビーシッター協会(窓口業界団体)に入れない

## どうすれば良いのか

こども未来財団に委託を出している厚生労働省に働きかけ、ベビーシッター協会にNPO枠をつくり、定額の入会金でも入会できるようにする

## 結果どうなるか

企業からの保育委託を受けやすくなり、子育て支援NPO業界が活性化する！